

行政事業レビューシート (文部科学省)						
予算事業名	ユネスコ国内委員会の連携強化		事業開始年度	昭和40年度		作成責任者
担当部署	国際統括官付		担当課室	国際統括官付		国際課国際協力政策室長 浅井 孝司
会計区分	一般会計		上位政策	国際協力の推進		
根拠法令 (具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-		
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	我が国とアジア・太平洋地域等ユネスコ国内委員会間の教育、科学及び文化分野における国際交流を実施し、日本と世界との間の理解と協力の関係を進め、ユネスコ憲章が定める国際平和の促進に寄与する。					
事業概要 (5行程度以内。別添可)	アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員を我が国に招へい(10日間)し、我が国のユネスコ関係機関への訪問、国内委員会職員との意見交換等を通じ、我が国のユネスコ活動理解のための研修を実施。					
実施状況	平成21年度は、中国、韓国、タイ、カンボジア、マレーシアから各国1名、計5名を招へい。各国研修参加者による自国のユネスコ活動の取組に関する発表、及び今後の参加国と日本、もしくは多国間の協力関係構築に資する意見交換を実施。その他、我が国の民間のユネスコ活動団体、ユネスコが主導機関となっているESD(持続発展教育)を推進するユネスコ・スクール、ユネスコ世界遺産、無形文化遺産に関する関連機関・施設を訪問し、我が国のユネスコ活動に関する理解を深めた。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	3	3	3	2	2
	執行額	2	2	2		
	執行率	66.7%	66.7%	66.7%		
	総事業費(執行ベース)	2	2	2		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の選定にあたっては、我が国のユネスコ活動の理解に資するものであるということを踏まえて行うことで、本事業予算の使用効果が最大限に発揮されるよう努めている。 ・招へい事業に必要な同行職員の経費を必要最低限に抑えるなど、旅費、滞在費等支出経費の節約に努めている。 				
	見直しの余地	招へい国については、毎年、アジア太平洋地域における地域間バランスを考慮し、幅広く選択してきた。今後は、我が国のユネスコ活動の発展に資する協力関係の維持発展及び構築、という点をより重視し、招へい国を重点化する必要がある。				
予算チームの所見	<p>1. 事業評価の観点：この事業は、アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員を我が国に招へいし、我が国のユネスコ活動理解のための研修を実施することを目的とする長期継続事業であり、予算執行(不用)の観点から検証を行った。</p> <p>2. 所見：昭和40年度から行っている長期継続事業であり、これまでの事業に関する効果を検証するとともに、毎年度恒常的に不用が生じており、予算と執行の乖離の要因等を精査し、予算を縮減すべきである。</p>					
補記						

ユネスコ国内委員会の連携強化

A. 文部科学省 2百万円

招へい外国人滞在費	1.3百万円
外国人招へい旅費	0.6百万円
その他	0.2百万円

アジア太平洋地域等のユネスコ国内委員会職員を我が国に招へいし、我が国のユネスコ活動理解のための研修を実施。

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A. 文部科学省			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
招へい外国人滞在費	ユネスコ国内委員会の連携強化に係る招へい外国人滞在費	1.3			
外国人招へい旅費	ユネスコ国内委員会の連携強化に係る外国人招へい旅費	0.6			
その他	職員旅費、外国人研修生研究旅費等	0.2			
計		2	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。使途と費目の双方で実情が分かるように記載)